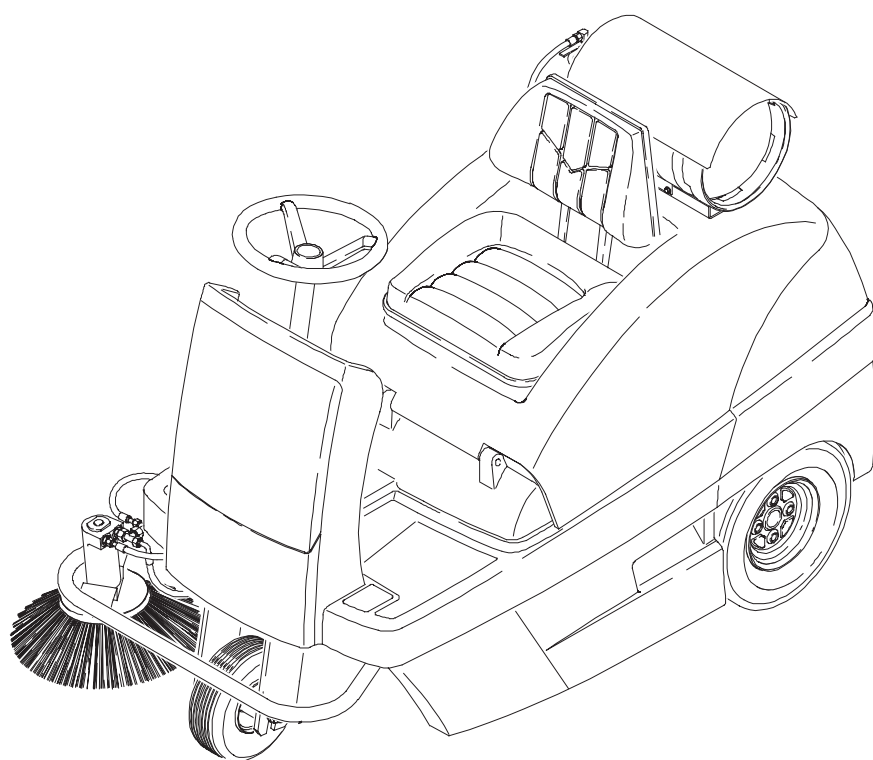


KÄRCHER

取扱説明書

KM100/100 R LPG



この度はケルヒャー商品をお買いあげいただき誠にありがとうございました。
ご使用前に取扱説明書をよくお読みいただき安全に正しくご使用ください。
お読みになられた後は、本書をすぐに取り出せる場所に保管してください。

KM 100/100 R LPG 202105

◆もくじ

1. 使用上のご注意
2. 本機の構造と各部名称
3. ご使用になる前に
 - 3.1 電力なしで移動する場合
 - 3.2 一般的なご注意
 - 3.3 始業前点検と日常のメンテナンス
4. ご使用方法
 - 4.1 清掃モード
 - 4.2 機械の始動
 - 4.3 本機の操作方法
 - 4.4 清掃作業
 - 4.5 本機の停止方法
 - 4.6 ゴミコンテナを空にする
5. 清掃作業方法
 - 5.1 安全上のご注意
 - 5.2 乾いた床を清掃する場合
 - 5.3 湿った / 濡れた床を清掃する場合
 - 5.4 障害物の上を走行する場合
6. 本機を使用しない時
7. 本機を移動する時
8. 本機の清掃とお手入れ
9. 定期的メンテナンス
 - 9.1 使用時間メーター
 - 9.2 お客様のメンテナンス方法
10. メンテナンスの実施方法
 - 10.1 安全上のご注意
 - 10.2 バッテリーの安全について
 - 10.3 バッテリーの取り付け
 - 10.4 バッテリーの充電
 - 10.5 バッテリー液の点検と補充
 - 10.6 LPG の点検
 - 10.7 LPG の補充
 - 10.8 エンジンオイルの補充
 - 10.9 エンジンオイルの交換
 - 10.10 油圧モーターオイルの点検
 - 10.11 空気洗浄器の点検
 - 10.12 点火プラグの清掃と交換
 - 10.13 Vベルトの点検と交換
 - 10.14 サイドブラシの点検
 - 10.15 サイドブラシの交換と取り付け
 - 10.16 メインブラシの点検
 - 10.17 メインブラシの交換と取り付け
 - 10.18 ダストフィルターの交換
 - 10.19 フィルターボックスシールの交換
 - 10.20 ストラップの交換
 - 10.21 ヒューズの交換
11. 故障かなと思ったら
12. お手入れおよび保管方法
13. 仕様および標準装備品
14. ユーザー登録・保証
15. お問い合わせ先
16. 修理

1. 使用上のご注意

◎ご使用前に必ずお読みください。

絵表示について

この取扱説明書と製品への表示では、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」を示しています。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容」を示しています。



この記号は「気をつけてほしいこと（注意）」を示します。



この記号は「してはいけないこと（禁止）」を示します。



この記号は「必ず実行してほしいこと」を示します。



警告



本体、電源プラグに水をかけないこと
感電する場合があります。



ぬれた手で電源プラグを触らないこと
感電する場合があります。



子供には触らせないこと
けがをする場合があります。



改造禁止

火災、感電、けがの原因になります。

ケルヒャー純正部品以外の、機械の性能や機能に適さない部品を使用しないでください。

機能を十分に発揮しない場合が生じ、思わぬ事故のもとになることがあります。



危険物や火気のある場所で使用しないこと
爆発、火災の原因となります。



ガスボンベは確実に接続すること

接続が不完全な場合には、ガス漏れによる中毒や引火による爆発を引起すおそれがあります



警告



バッテリーを短絡させないこと
短絡させた場合、爆発する危険性があります。



接続ケーブルは確実に取り付けること
ゆるい場合短絡し、引火爆発の原因となります。



バッテリーに水をかけないこと
引火爆発の原因となります。



LPG もしくはブタンガス以外の燃料を使用しないこと
異種燃料を使用した場合、エンジンの故障や異常燃焼の原因となります。



屋内で使用しないこと
一酸化炭素中毒を生じる場合があります非常に危険です。



飲酒時には運転しないこと
運転を誤ると重大な事故や怪我を生じる恐れがあります。飲酒時は運転しないでください。



充電は換気の良い場所でおこなうこと
屋内で充電する場合は換気設備の整った場所でおこなってください。充電中はバッテリーからガスが発生し、引火爆発を生じる恐れがあります。



充電中は火気厳禁！
充電中はバッテリーからガスが発生し、引火爆発を生じる恐れがあります。

 **注意****長期保管時は充電すること**

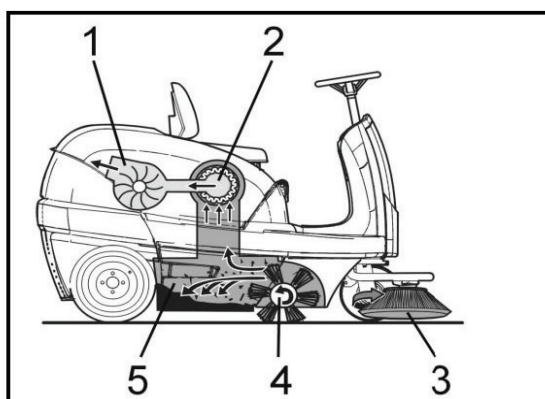
1ヶ月以上使用しない場合は毎月1度必ず充電してください。
バッテリーは使用しない状態で保管した場合、約3ヶ月で完全放電してしまいます。

完全放電した場合バッテリーの寿命が低下します。

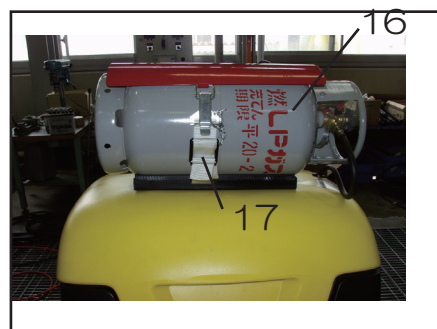
**バッテリーの形状に注意すること**

バッテリーの寿命が近づいてくるとバッテリーの側面が膨らみます。バッテリーが丸く膨らんだ場合交換してください。

2. 本機の構造と各部名称



- 1) サイドブラシ (3) により集めたゴミがメインブラシの方に運ばれます。
- 2) メインブラシ (4) からゴミコンテナ (5) にゴミが運ばれます。
- 3) コンテナに運ばれたゴミはダストフィルターを通り、きれいな空気のみ外に排気されます。



1. ハンドル
2. フラップ昇降ペダル
3. 前進 / 後進ペダル
4. 清掃モード選択ノブ
5. 使用時間メーター
6. ホーン
7. チョーク
8. イグニッションスイッチ
9. フィルター清掃ボタン
11. 本体カバー
12. ゴミコンテナ
13. ゴミ用フラップ
14. ローラー
15. サイドブラシ
16. LPG ボンベ
17. 脱落防止ベルト

仕様変更により商品の形状と図が一致しない場合があります。

3. ご使用になる前に

3.1 電力なしで移動する場合



- LPG ボンベを所定の位置に設置してください。

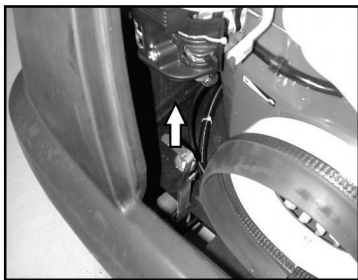


- LPG ボンベを脱落防止ベルトでしっかり固定し、本体カバーを開けてください。



注意

カバーを開ける際には、ボンベが落下しないよう十分に注意してください。



注意

ギアが入っていない状態で移動する場合には6 km/h以下でゆっくりと押して移動してください。

- 移動後、ギア切替レバー元の位置に下げてください。
- 本体カバーを閉めてください。

3.2 一般的なご注意

- 本体は平らな平面に置いてください。
- 本機から離れる際には必ずモーターを切り、イグニッションキーを取外してください。

3.3 始業前点検と日常のメンテナンス

- エンジンオイルの量を点検してください。
- メインブラシを点検してください。
- ゴミコンテナを空にしてください。
- タイヤの空気圧を点検してください。
- LPG ボンベを車体後部へ設置し、脱落防止ベルトでしっかりと固定してください。
- 油圧オイルを点検してください。
- サイドブラシを点検してください。

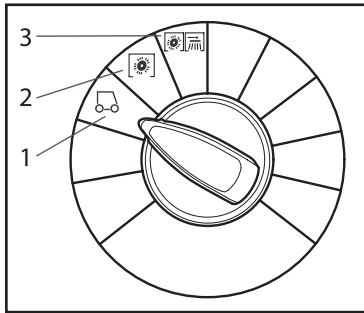


メンテナンス作業を参照してください。

点検中に見つかった問題点は直ちに解決するか本機を使用しないでください。

4. ご使用方法

4.1 清掃モード



1：ドライブモード

機械を移動することができます。

2：メインブラシモード

メインブラシが下降し、回転します。

3：サイドブラシモード

サイドブラシ、メインブラシが下降し、回転します。

4.2 機械の始動



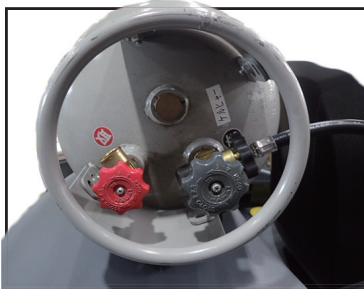
- 本体カバーを開けてください。



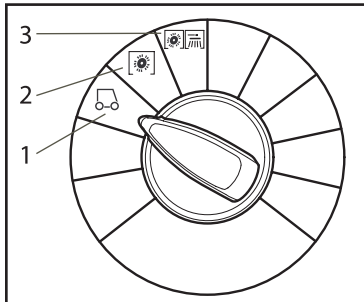
注意

カバーを開ける際には、ボンベが落下しないよう十分に注意してください。

- LPG 燃料コックの供給口を開けてください。
カバーを閉じ、座席に座ってください。



※本体にはシートコンタクトスイッチが装置されてます。
作業者が座席から離れると止まるシステムになっています。



- 清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。



- 始動時はレバーを下側のチョーク位置に合わせてください。



注意

エンジンがかかったらチョークボタンを元の位置に戻してください。

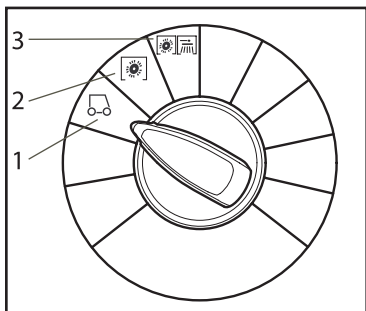
- イグニションスイッチを“1”の位置にしてください。



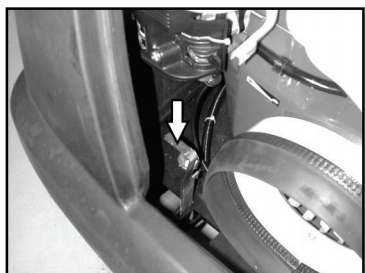
注意

始動モーターを10秒以上作動させないでください。もしエンジンがかからなかった場合、10秒以上待ってから再度イグニションスイッチを回してください。

4.3 本機の操作方法 (移動する場合)



- 清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。



- アクセルドライブのレバーが下にきちんと下りている事を確認してください。



- 前進する場合、ペダル前方をゆっくりと踏んでください。



- 後進する場合、ペダル後方をゆっくりと踏んでください。

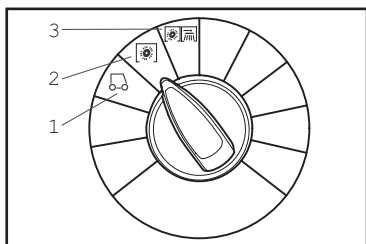
注：スピードはペダルで調節が可能です。

油圧システムの破損につながりますので、ペダルはゆっくりと踏んでください。

傾斜がある場所ではスピードを落としてゆっくりと走行してください。

注：ペダルから足を離すとブレーキがかかります。

4.4 清掃作業



- 清掃モード選択のノブを「2」のメインブラシモードに合わせてください。



- 前進ペダルを踏んで清掃を始めてください。



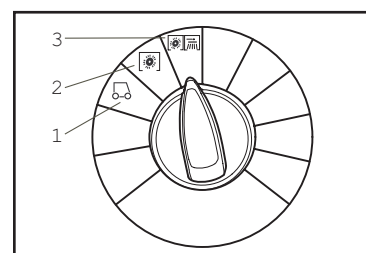
- 大きなゴミがある際にはフラップ昇降ペダルを踏んでフラップを上げてください。



- フラップを上げた状態で大きなゴミを掃き取ります。



通常はフラップを下ろした状態で清掃してください。フラップを上げたままで作業をすると、ゴミを取ることができません。

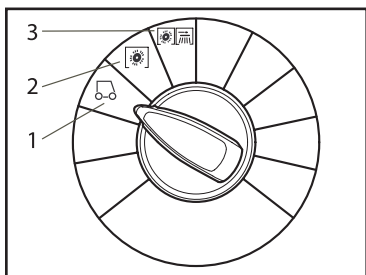


- 壁際などの隅を清掃する際には、ノブを「3」のサイドブラシモードに合わせてください。



- サイドブラシを隅に合わせて機械を前進させてください。

4.5 本機の停止方法



- 清掃モード選択ノブを「1」のドライブモードに合わせてください。メインブラシ、サイドブラシが上昇します。



- エンジンを止めてください。



注意

エンジン停止には3-4秒かかります。
この間エンジン付近は絶対に手を入れないこと。



- LPG ボンベのバルブを閉めてください。

4.6 ゴミコンテナを空にする



- フィルターの埃を取った後、ゴミコンテを開け、上に持ち上げて留め具を外してください。
- ゴミコンテナを引き出し、空にしてください。
- 空にしたら、再度ゴミコンテナを本体に戻し動かないように固定してください。
- 反対側のゴミコンテナも同様に空にしてください。

5. 清掃作業方法

5.1 安全上のご注意

- 梱包用テープ、針金あるいは類似のものは清掃しないでください。ブラシを損傷する場合があります。
- 清掃時には本体付近に他の人や、動物、障害物がないかを確認してください。

5.2 乾いた床を清掃する場合

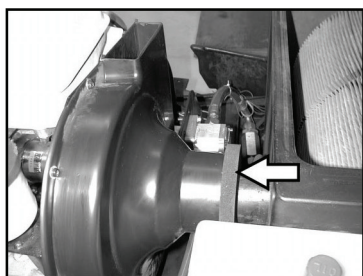


- 本体カバーを開けてください。



注意

カバーを開ける際には、ボンベが落下しないよう十分に注意してください。

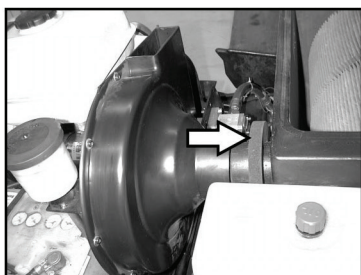


- シーリングキャップを吸引タービンの方向に動かしてください。



- 座席横にあるカバーを閉じてください。

5.3 湿った / 濡れた床を清掃する場合



フィルターが濡れないように必ず行ってください。

路面が著しく濡れている場合

- シーリングキャップをフィルターボックスの方向に動かしてください。



路面が若干濡れている場合

- 座席横にあるカバーを開けてください。

5.4 障害物の上を走行する場合

50 mmまでの高さの障害物。

- 前進しながらゆっくりと走行します。

50 mm以上の高さの障害物

- 障害物の上を走行しないようにしてください。

6. 本機を使用しない時

一定期間本機を使用しない時は次の内容に注意してください。

- 本機を水平なところに保管してください。
- サイドブラシを保護する為にブラシを上げてください。
- イグニッションキーを外してください。
- 本機が転がらないように固定してください。
- LPG ボンベのバルブを閉めてください。
- エンジンオイルを交換してください。
- 本機の内部および外部を清掃してください。
- バッテリーケーブルを外してください。バッテリー液の量を1週間毎に点検してください。バッテリーは2ヶ月おきに充電してください。
- 湿った場所では保管しないでください。

7. 本機を輸送する時

本機は必ず動かないように固定してください。

- タンクの中を空にしてください。
- 本機をベルト、ロープあるいはチェーンで止め輪に固定してください。
- タイヤに輪止めをかけてください。



移動用固定箇所

本体のフレームにチェーンマークがついています。

注：傾斜角度が18度以上の場所は走行しないでください。

8. 本機の清掃とお手入れ

- 本機を平面においてください。
- エンジンは必ず停止させてください。
- イグニッションキーを外してください。

内部の清掃

- マスクやゴーグルをして作業をしてください。

外部の清掃

- 強い洗剤を使用しないでください。

9. 定期的メンテナンス

9.1 使用時間メーター

メンテナンスの時期については使用時間メーターを参考にしてください。

9.2 お客様のメンテナンス方法

毎日のメンテナンス

- エンジンオイルの量を点検してください。(品番 6.288-050)
- 作業制御装置が作動しているか点検してください。
- サイドブラシとローラーについて磨耗やひも等の絡みつきがないか点検してください。
- タイヤの空気圧を点検してください。(前 6Kg、後 6Kg)

毎週のメンテナンス

- 油圧オイルのレベル、ホースに漏れがないか点検してください。
- フィルターを点検してください(使用量の多い場合は頻繁に行なってください)。
- ワイヤークーブルと可動部品が可動可能か点検してください。

100 時間毎のメンテナンス

- 仕様を参考にエンジンオイルの交換をしてください。
- 点火プラグを点検してください。
- カバーコンタクトスイッチとシートコンタクトスイッチを点検してください。
- ベルトの磨耗や切れの点検をしてください。
- ワイヤークーブルと可動部品が可動可能か点検ください。
- シール部分に磨耗がないか点検してください。
- タイヤの空気圧を点検してください。
- バッテリー液の比重 / 量を点検してください。



メンテナンスや修理は熟練した技術者が行なってください。
必要に応じケルヒャーのサービスエンジニアに御相談ください。

10. メンテナンスの実施方法

10.1 安全上のご注意

- 本機を平面に置いてください。
- イグニッションキーを外してください。
- エンジンを停止させてからメンテナンスを行ってください。

10.2 バッテリーの安全について

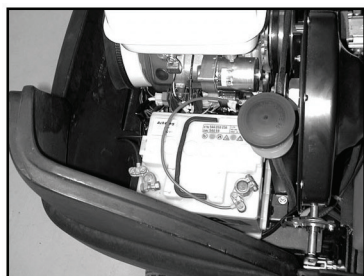
- 充電器の取り扱い説明書を良く読んでください。
- バッテリーの取り扱いには熟練者の元で十分に注意して行ってください。
- 作業時には保護メガネ、作業用手袋および作業服を着用してください。
- 取扱説明書の事故を防ぐ為の説明や関連法規、規定を確認してください。

火災や爆発を防ぐ為に

- 作業中はタバコを吸わないでください。
- 火気、燃えかすやスパークをバッテリーに近づけないでください。
- バッテリーの端子には常に電流が流れていますので、バッテリーの上に物や工具を置かないでください。
- 充電する場合には、爆発しやすい水素ガスが発生しますので、換気のいい場所で作業を行ってください。

バッテリー液によるやけどを防ぐ為に

- 万が一、バッテリー液が目に入ったり皮膚についたりした場合には、大量の水で洗い流してください。直ぐに医師の指示を受けてください。
- バッテリー液の付いた衣服を洗ってください。



10.3 バッテリーの取り付け



- バッテリーをホルダーに取り付けてください。
- バッテリーの下部を留め具で留めてください。
- プラス端子のケーブルを取り付けてください。
- マイナス端子のケーブルを取り付けてください。



端子用のグリスでバッテリー端子の腐食を防止してください。

10.4 バッテリー液の充電



注意

- バッテリーの取扱は常に注意を払って行ってください。
- バッテリーの充電はできるだけ小さい電流で行ってください。
- 充電器の取扱説明書をよく読んで使用してください。

- バッテリーを外し、プラス端子のケーブルをプラス端子に取り付けてください。
- マイナス端子のケーブルをマイナス端子に取り付けてください。
- 電源プラグを入れ、充電器のスイッチを入れてください。

10.5 バッテリー液の点検と補充



各セルのバッテリー液のレベルを定期的を確認してください。

- プラグを全て外してください。
- バッテリーを充電してください。
- プラグを接続してください。

10.6 LPG の交換



- LPG ボンベから脱落防止ベルトを取り外してください。



- ベルトを外した後、LPG ボンベを取り外してください。

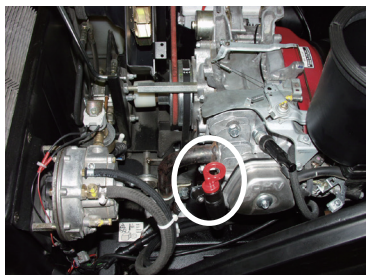


注意 LPG ボンベを落とさないように気を付けてください。

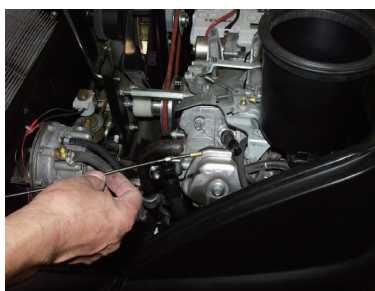
10.7 LPG の補充

- エンジンが冷めてから作業をしてください。
- 空の LPG ボンベを LPG ガス販売業者に交換依頼をしてください。
- LPG ボンベは安全な専用の場所に保管してください。

10.8 エンジンオイルの点検と補充



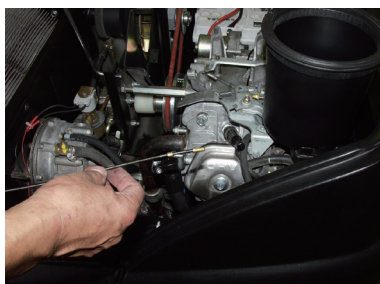
- オイルレベルゲージを引き抜いてください。
- オイルを布か何かで一度拭取り、再度差し込んでから引き抜いてください。



- オイルは最低でもゲージ3分の1の位置まで来るようにしてください。
 - オイルレベルがMINより下の場合には、オイルを補充してください。
- 補充するにはオイルゲージを抜きオイルを少しずつ入れてください。

- オイルは品番 6.288-051 (SAE15W40) をご使用ください。
- キャップを閉め、約5分置いた後、再度オイルレベルを確認してください。

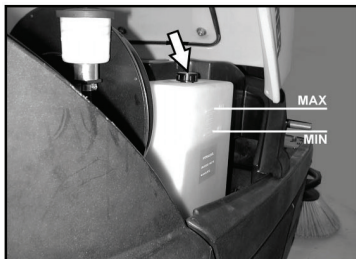
10.9 エンジンオイルの交換



- オイルレベルゲージを引き抜いてください。
- 専用ポンプ (6.491-538) でオイルを吸引してください。
- タンクが空になった後エンジンオイルを補充し、約5分置いた後、再度オイルレベルを確認してください。

10.10 油圧モーターオイルの点検

清掃作業用油圧システム



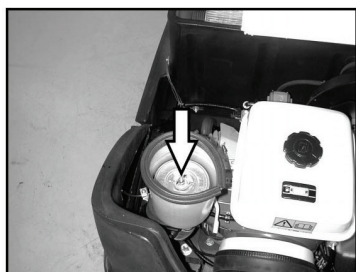
- オイルのレベルが MIN 以上か確認してください。
- カバーを開け、油圧オイルを補充してください。
 - 清掃作業用油圧オイルは品番 4.070-306 をご使用ください。

駆動軸回路用油圧システム



- ※暖気運転後にオイル量を確認して下さい。
減っている場合は補充を行ってください。
- リザーバーキャップを外してください。
- 必要があれば油圧オイルを補充してください。
 - 駆動軸回路用油圧オイルは品番 SAE10W60 をご使用ください。
- リザーバーを閉じてください。

10.11 エアクリーナの点検



- カバーの蝶ナットを緩めてください。
- フタを取り外してください。



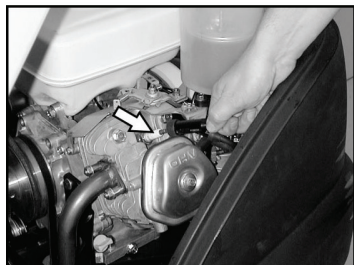
- 古いフィルターカートリッジを取り出し、新しいものを取り付けてください。
- カバーの蝶ナットを留めてください。

10.12 点火プラグの清掃と交換



やけどに注意

- ・作動しているエンジンや、排ガスシステム等の高温になっている付近には手を入れないでください。



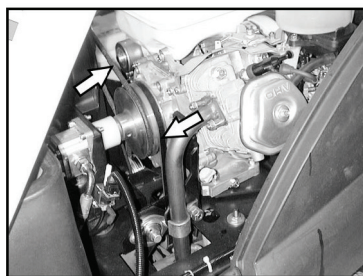
注意 エンジン停止には3-4秒かかります。その間に作業を始めないでください。

- ・カバーを開け、点火プラグのコネクターを取り外してください。
- ・点火プラグを緩め取り外し、新しい点火プラグを取り付け、コネクターで留めてください。

10.13 Vベルトの点検と調整

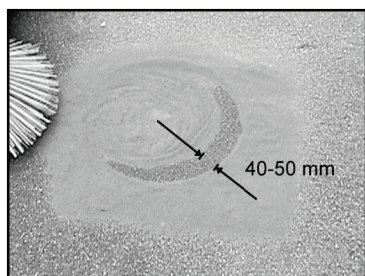


注意 エンジン停止には3-4秒かかります。その間に作業を始めないでください。



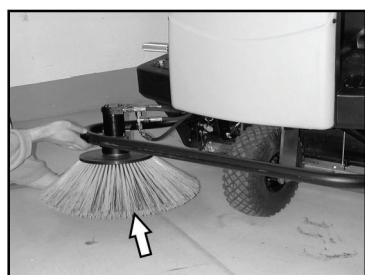
- ・イグニションスイッチを切り、鍵を外してください。
- ・本体カバーを開けてください。
- ・回転ベルト、Vベルトに磨耗や破損がないか点検してください。

10.14 サイドブラシの点検



- ・サイドブラシを上げて、本機を平らでホコリが均一に付いている場所に移動してください。
- ・サイドブラシを下げて、回転させてください。
- ・サイドブラシを上げ、本機を後退させてください。
- ・ブラシの回転跡を確認し、作業幅が40-50 mmであるか確認してください。

10.15 サイドブラシの交換、取り付け

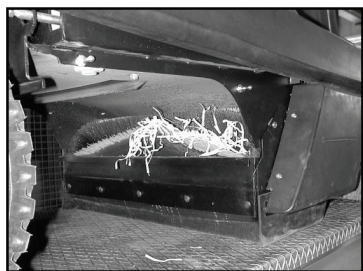


- ・ブラシ固定ネジを外して古いサイドブラシを取り外してください。
- ・新しいサイドブラシを取り付けて、ネジを締めてください。



サイドブラシを上げ、テープやひも等が絡まっていたら、取り除いてください。

10.16 メインブラシの点検

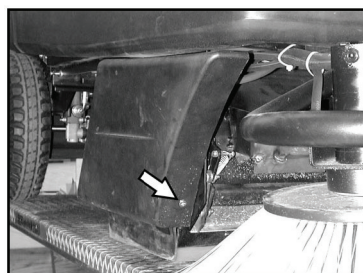


- 本体を平らな場所に置き、固定させてください。
- メインブラシを上げた後、イグニションスイッチを切って鍵を外してください。
- ゴミコンテナを取り外してください。
- ブラシに絡まったテープや紐等を取り除いてください。

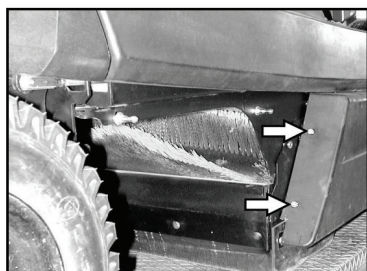
10.17 メインブラシの交換、取り付け

ブラシの磨耗により掃能力が低下している際には、ローラーを交換する必要があります。 その際には

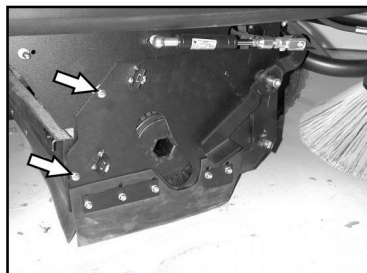
- メインブラシを平らな場所に置き、固定させてください。
- ゴミコンテナを取り外してください。



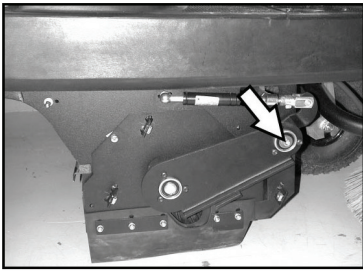
- 右側のパネルの前方にあるネジを外してください。



- 右側のパネルの後方にあるネジを外してください。



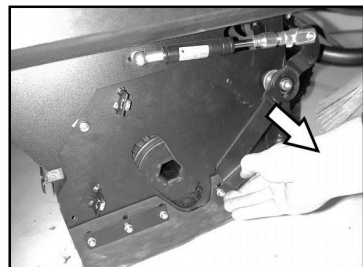
- その他のネジを外してください。



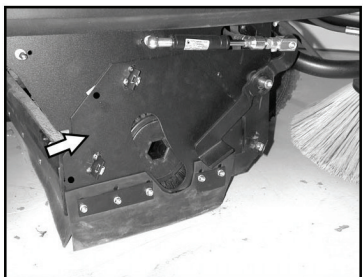
- メインブラシのブラケット部のネジを外してください。



- メインブラシのブラケットを外してください。



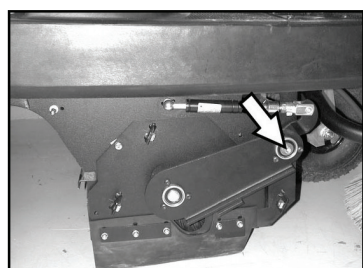
- 釣り棒を外してください。



- カバーを外し、メインブラシを取り出してください。



- メンテナンス後、或いは新しいメインブラシの交換する際にはメインブラシを元の位置に取り付けてください。この際ブラシの位置をきちんと確認してください。



- 取り外したネジを再度留めてください。
- 全てのネジを留めた後、ゴミコンテナを取り付けてください。

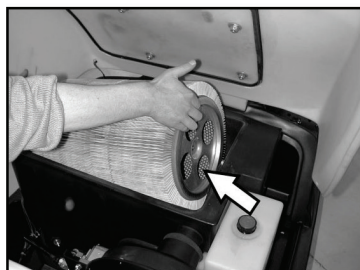
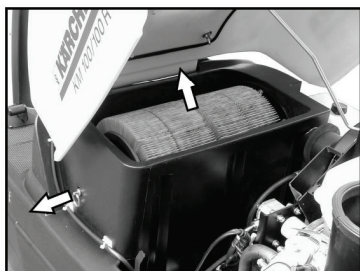
10.18 ダストフィルターの交換



注意

フィルターの交換作業の際には必ず防塵マスク等を着用してください。

- 本体カバーを開けてください。
- フィルターのブラケット用のハンドルを引っ張ってください。
- フィルターを取り出してください。
- 新しいフィルターを挿入してください。



- 運転席側にある穴にきちんと入れてください。



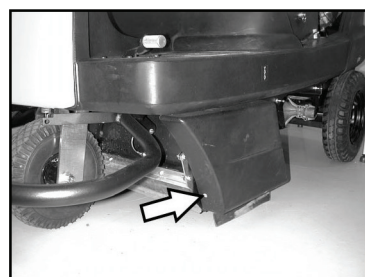
新しいフィルターを取り付ける際にひだを壊さないようにしてください。

10.19 フィルターボックスシールの交換



- フィルターボックスのシールを交換する際には、本体カバーの溝から取り外し、新しい物と交換してください。

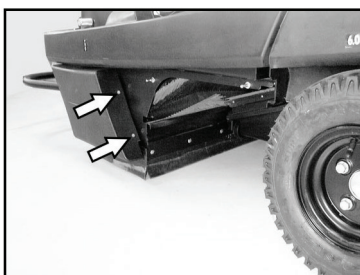
10.20 ストラップの交換



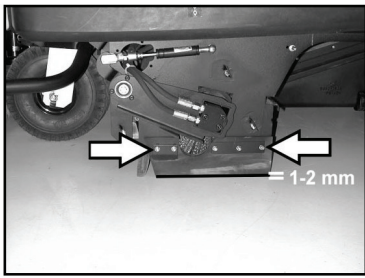
注意

ストラップを交換する際には、本体を必ず平らな場所に置いてください。

- イグニッションキーを外してください。
- パネルの両側のネジを外してください。
- パネルの前方のネジを外してください。



- パネルの後方のネジを外してください。

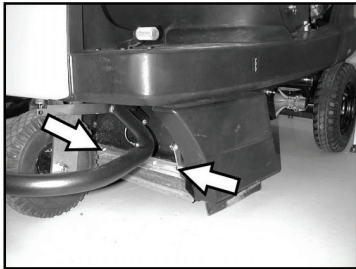


1. 側面ストラップ

- ストラップの留め具を外し、新しいストラップをはめ込んでください。（留め具はまだしないでください。）

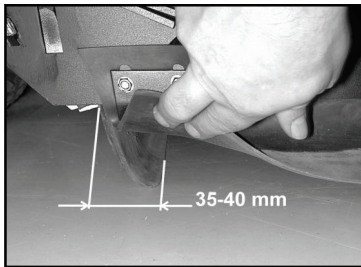
- 2mm のシムを地面からの高さを調節する為に挟んでください。

- ストラップを調整し、留め具を締めます。

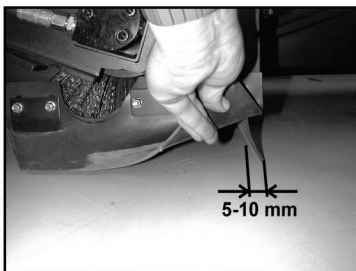


2. 前方ストラップ

- ストラップの留め具を外し、新しいストラップをはめ込んでください。（留め具はまだしないでください。）



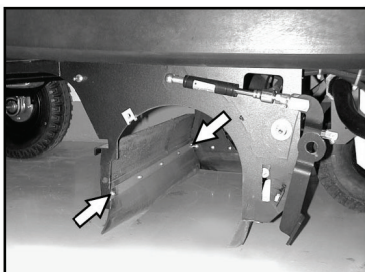
- ストラップの高さが地面から 35-40mm となるように高さを調整し、留め具を締めて下さい。



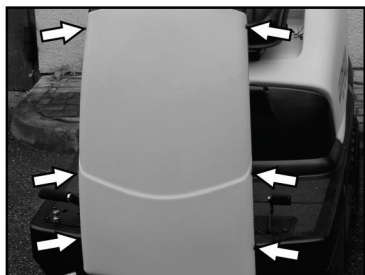
3. 後方ストラップ

- ストラップの留め具を外し、新しいストラップをはめ込んでください。（留め具はまだしないでください。）

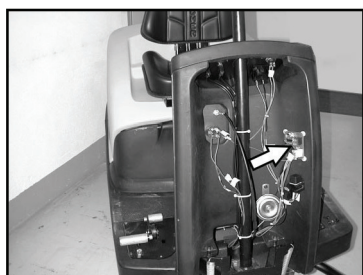
- ストラップの高さが地面から 5-10mm となるように高さを調整し、留め具を締めてください。



10.21 ヒューズの交換



- カバー両側のネジを外してください。



- 切れたヒューズを外し、新しいヒューズを取り付けてください。この際新しいヒューズは古いヒューズと同じ電流値のものをご使用ください。

11. 故障かな?と思ったら

●エンジンが動かない!

↓

本体カバーを閉めていますか?

↓ → いいえ → カバーを降ろしてください。

はい

↓

キースイッチを入れましたか?

↓ → いいえ → キースイッチを回し入れてください。

はい

↓

バッテリー接続端子に緩みはありませんか?

↓ → はい → しっかり接続してください。

いいえ

↓

ヒューズが切れていませんか?

↓ → はい → ヒューズを交換してください。

いいえ

↓

メンテナンスを依頼してください。

●ブラシは回転しているが清掃できない！

↓

スイッチを入れましたか？

↓ → いいえ → スイッチを入れてください。

はい

↓

ブラシが磨耗していませんか？

↓ → はい → ブラシを交換してください。

いいえ

↓

スカートが損傷、脱落していませんか？

↓ → はい → スカートを交換してください。

いいえ

↓

メンテナンスを依頼してください。

●埃が舞い散る！

↓

フィルターが詰まっていますか？

↓ → はい → 一度エンジンを切り、フィルター自動クリーナーを作動させてください。

いいえ

↓

フィルターに破れがありませんか？

↓ → はい → 交換してください。

いいえ

↓

スカートが損傷、脱落していませんか？

↓ → はい → ストラップを交換してください。

いいえ

↓

メンテナンスを依頼してください。

12. お手入れおよび保管方法について

●お手入れ

※バッテリー接続プラグを外した状態で行ってください。

※フィルターは1時間毎にエンジンを停止してチリ落としを行なってください。

作業終了後は必ずチリ落としを行なってください。

※本体の汚れ、バッテリーの汚れは、ぬるま湯か中性洗剤に浸した柔らかい布を固くしぼって拭き取ってください。

※ガソリン、シンナー、ベンジン、掃除用、殺虫用、整髪スプレーなどをかけないでください。破損、変質、変色の原因となります。

●保管

※保管前に必ずお手入れをしてください。

※必ず屋内のホコリのかからない場所に保管してください。

●メンテナンススケジュール

毎日 / 8時間毎

バッテリー液の量

エンジンオイルの確認

1週毎 / 25時間毎

ストラップの状態 キズ、脱落、割れの確認

油圧オイルの量の確認

1ヶ月毎 / 40時間毎

フィルターの状態

メインブラシ、 サイドブラシの状態

エンジンオイルの交換

半年毎 / 100時間毎

Vベルトの状態、テンション

チェーンの状態、テンション

エンジンオイルの交換

1年毎 / 500時間毎

フィルターの交換

油圧オイルの交換

13. 仕様および標準装備品

KM 100/100 R LPG 仕様		
動力	LPG	
搭載 LPG 燃料：	LPG もしくはブタンガス	
回転速度	2500rpm	
プラグ NGK	BPR6ES	
LPG ボンベ容量	15Kg	
エンジンオイル	1.1 L	
清掃能力		
サイドブラシ未使用	5680m ² /h	
サイドブラシ1使用	8000m ² /h	
サイドブラシ2使用	10320m ² /h	
清掃幅		
サイドブラシ未使用	710mm	
サイドブラシ1使用	1000mm	
サイドブラシ2使用	1290mm	
回収タンク	100L	
長さ×幅×高さ	2006 × 1005 × 1343mm	
本体質量	300Kg	
作業可能温度	-5 ~ 40℃	
作業可能湿度	0 ~ 90%	
登坂能力	18%	
騒音値	79 dB (A)	
前タイヤ圧	4.00-4	6bar
後タイヤ圧	4.00-8	6bar

14. ユーザー登録・保証

ユーザー登録をお願い致します。ケルヒャー ジャパン株式会社では、十分なアフターサービスを提供するために、当社業務用製品をご購入いただいたお客様にユーザー登録をお願いしております。



<ユーザー登録いただいたお客様限定>

ご購入日から1年間の保証期間を
ご購入から2年間に延長いたします。

そのほか、お得なキャンペーンや新製品のご案内をお送りします。ぜひご登録ください。

<ユーザー登録方法>

ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトからご登録ください。

サービス - 業務用製品ユーザー登録

- ご購入から30日以内にご登録ください。
- ご登録には製品名とシリアルナンバー（製造番号）が必要です。
2台以上ご購入いただいた場合も1台ずつご登録ください。
- S/N：x x x x x x の数字がシリアル番号です。

<保証>

保証規定については、同梱の保証書をご確認ください。

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

<お問い合わせ先>

弊社 Web サイトで最新の情報を入手頂き、お問い合わせください。

ケルヒャー ジャパン株式会社 サービスフロント

T E L : 0570-78-3140

登録情報について

お客様にご登録いただいた個人情報は第三者に提供することはありません。

尚、ユーザー登録情報は、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますので、ご了承ください。

当社の個人情報保護の取り組みについては、ケルヒャー ジャパン株式会社のウェブサイトでご覧いただけます。

15. お問い合わせ先

<サービスフロント>

業務用製品の故障、修理についてのお問い合わせは、ケルヒャーサービスフロントへご連絡ください。

受付時間：月～金 AM9：00～PM5：00
(祝祭日、当社休日を除く)

TEL：0570-78-3140

FAX：045-438-1320

16. 修理

修理のご用命は弊社ホームページをご覧ください、
申し込みフォームからご依頼ください。

https://www.kaercher.com/jp/service/support_pro/repair_menu.html

この取扱説明書の製品は、「中・大型機」になります。
弊社支店への持ち込み修理と出張修理サービスが対象です。
※修理費用については予告なしに変更する事があります

お電話での修理のお問い合わせは
サービスフロント（修理受付）

受付時間 9：00～17：00

月曜日～金曜日（祝日、当社休日を除く）

TEL：0570-78-3140